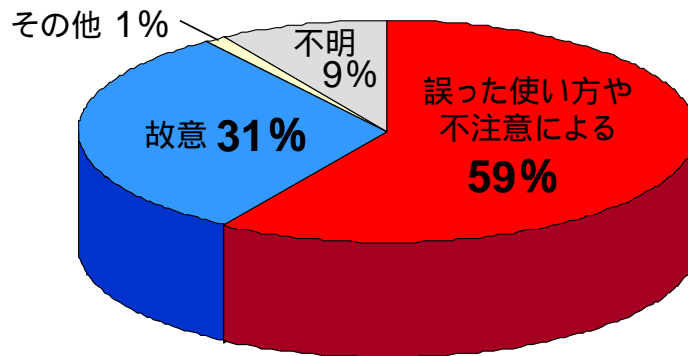


## PART 2 成人編：守っていますか？使い方 中毒110番・家庭での中毒事故と予防策



化学製品による中毒事故は、子どもの誤飲や認知症のある高齢者だけで起こるものではありません。  
**誤った使い方や不注意による成人の中毒事故は、意外と多く発生しています。**



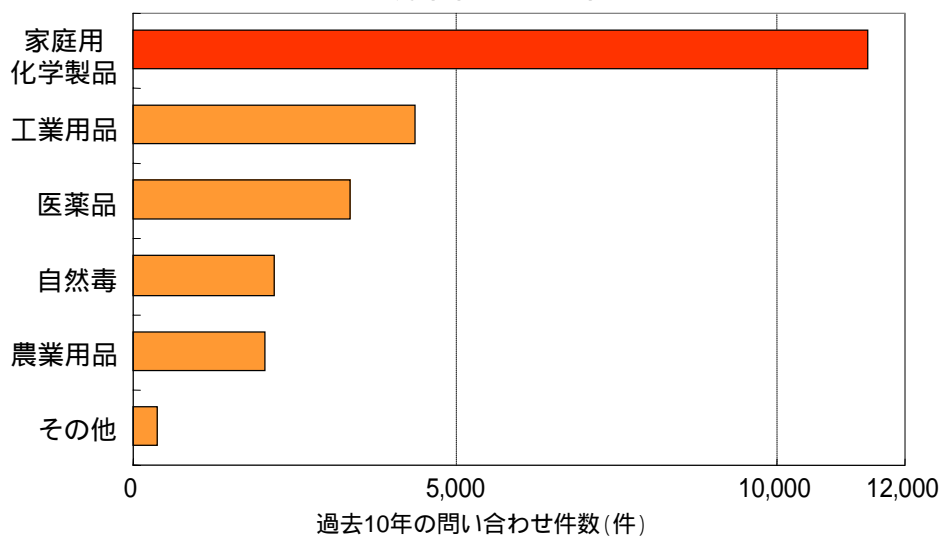
成人の中毒事故発生状況

(財)日本中毒情報センター受信状況より



成人の中毒事故の原因となる物は、家庭用化学製品(洗剤・洗浄剤、殺虫剤など)が大変多いのです。

成人の誤った使い方や不注意による中毒事故  
原因となった物



(財)日本中毒情報センター受信状況より

## 1. 飲み物などと間違える事故や手作り品による事故とその予防策

- ・妻が湯呑みの茶渋を取るために、湯呑みに漂白剤を注いで台所に放置した。夫が漂白中であることに気付かず、湯呑みを濯がずにお茶を入れて飲んだ。

→ 予防策 **漂白剤を食器に直接注がない、流しの中で洗い桶を使用し、希釈して漂白する**

- ・妻がポット洗浄剤をポットに入れ、ポットの電源を抜いておいた。夫が知らずに電源を入れ、沸騰した洗浄液でカップラーメンを作って食べた。

→ 予防策 **張り紙などで洗浄中であることを周知する**

- ・妻がアルコール、グリセリン、尿素を使って手作り化粧水を作り、ペットボトルに入れて冷蔵庫に保管した。夫がミネラルウォーターと勘違いして飲んだ。

→ 予防策 **冷蔵庫には食品以外の物を保管しない、やむを得ず保管する場合は、別容器などに入れて食品と間違えないようにする**

## 2. 製品の使用方法を守らなかったことによる事故とその予防策

- ・塩素系漂白剤を使ってトイレ掃除中、漂白剤が無くなったため酸性タイプの洗浄剤を続けて使ったところ、眼が痛くなり、気分も悪くなった。

→ 予防策 **容器に書いてある製品の特徴(塩素系漂白剤、酸性洗浄剤など)、「まぜるな危険」などの注意書きを、使う前に読んで、必ず守る**

- ・玄関で防水スプレーを1本使いきったところ、咳が出て息苦しくなった。

→ 予防策 **容器に書いてある「使用量の目安」や「使用場所」などの注意書きを、使う前に読んで、必ず守る**

- ・一般的なスプレータイプ殺虫剤と勘違いして、全量噴射式エアゾール殺虫剤の噴射ボタンを押し、薬剤の噴射が止まらなくなった。

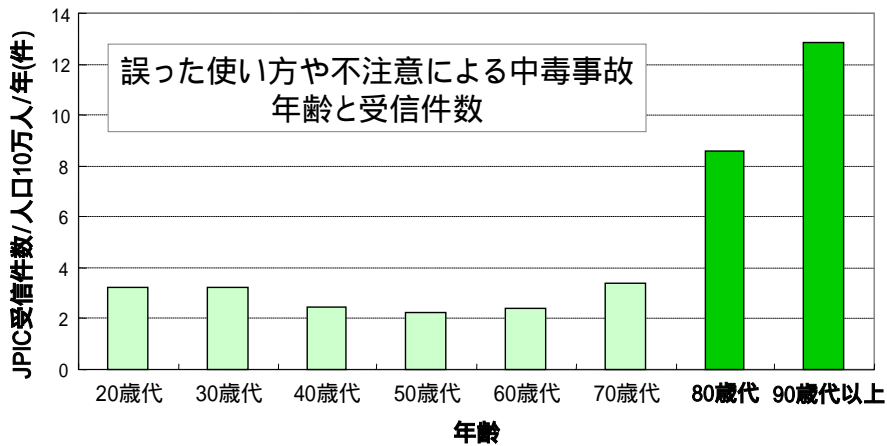
→ 予防策 **使う前に、容器に書いてある「使用方法」などの注意書きを読んで、必ず守る**

# PART 3

## 高齢者編：あっ危ない！高齢者の中毒事故 中毒110番・これが家庭での防止策



高齢者は視覚や味覚の衰え、認知症などのために、誤った使い方や不注意による中毒事故が成人に比べて大変起こりやすくなります。  
20歳代～70歳代に比べて、80歳代、90歳代は中毒110番への相談件数が2～4倍です。

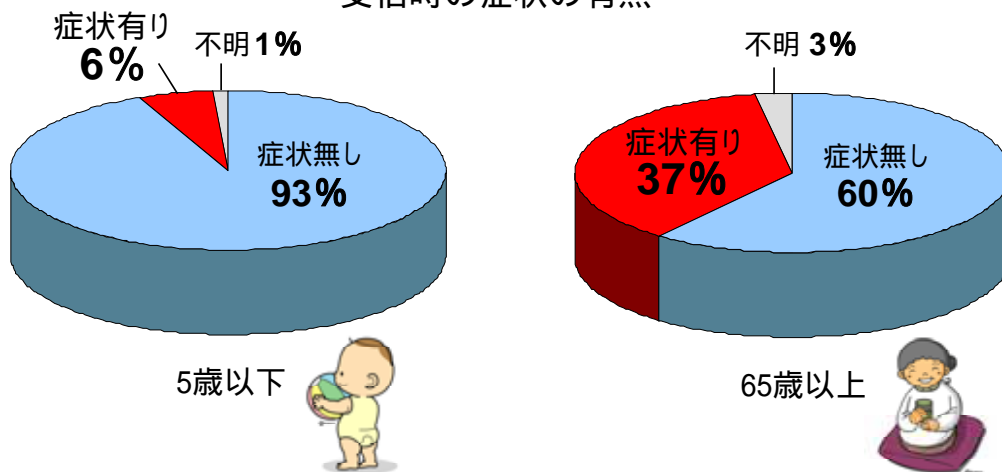


(財)日本中毒情報センター受信状況より



また、高齢者は、味覚や嗅覚の衰えなどから大量に食べてしまうことが多く、相談を受けたときには既に症状が出ていることも多いのです。  
重篤化しやすく、中毒事故を未然に防ぐことが大切です。

### 受信時の症状の有無



(財)日本中毒情報センター受信状況より



高齢者で事故が多い製品には、以下のようなものがあります。  
ほとんどは、食品と間違えて食べてしまう事故です。

### 高齢者で事故が多い製品

食品と一緒についてくる	乾燥剤、鮮度保持剤、保冷剤など 例) 生麺についている鮮度保持剤を薬味と間違える 生菓자에添付されている保冷剤をシロップと間違える
容器や中身が食品と似ている	芳香剤、台所洗剤など 例) ゼリータイプの芳香剤を食品のゼリーと間違える 台所洗剤を清涼飲料やサラダ油と間違える
高齢者がよく使う	入れ歯洗浄剤、ポータブルトイレ用防臭剤など 例) 入れ歯洗浄剤をトローチと間違える 粉末タイプのポータブルトイレ用防臭剤を飲み薬と間違える
認知症がある人に多い	外用薬(塗り薬)、使い捨てカイロ、保冷枕、紙おむつ、防虫剤など



高齢者の中毒事故を未然に防ぐために以下の3つを心がけましょう！  
また、「家庭内での中毒事故防止チェックリスト」で、成人と高齢者の中毒事故について、現在どの程度実行できているかを確認しましょう。

1. 食品や薬とそれ以外のものは分けて保管する、薬は使い方や目的ごとに分けて保管する
2. 使う前に製品をよく確認する、よく見えない状況では使用しない
3. 家族や介護する人は製品の使用と保管に十分注意する

「家庭内での中毒事故防止チェックリスト 成人編/高齢者編」

は次ページです

## 家庭内での中毒事故防止チェックリスト

の事項について、「はい」に該当すればチェック☑します。

☑の数が少ないほど危険です。協力して☑を増やしましょう。

中毒 110 番 市民向け啓発教材 みんなで防ごう！身近な中毒事故 手引書 より

成人編 / 高齢者編

### 1. 使用方法を守る

洗剤・洗浄剤や殺虫剤、防水スプレーなど化学製品を使う時は、使用方法(使用量・使用場所)、

使用上の注意などの表示を必ず読んで守っている

2種類以上の化学製品を混ぜたり、併用したりしていない

スプレー式の化学製品を使う時は、顔にかかったり吸い込んだりしないように、

噴射口と風向きを確認して使用している

くん煙殺虫剤を使う時は、使用することや使用中であることを周囲に知らせ、十分に換気した後に入室している

### 2. 使う前に製品を確認する

化学製品を使うその都度、使用方法と使用上の注意を再確認して守っている

暗がりや眼鏡をかけないなど、見えにくい状況で化学製品の表示を確認したり使ったりすることはない

食品に添付の小袋は、表示を必ず読んで、何であるかを確認している

スプレー式殺虫剤を使う時は、全量噴射式であるかどうかを十分に確認して使用している

芳香剤をゼリーと間違えて食べる事故が発生していることを知っている

### 3. 食品や薬とそれ以外の物は分けて保管する

食器用洗剤はジュースや食用油と別の場所に置いている

外観が似ている薬など(目薬と水虫の薬、飲み薬と坐薬、トローチと入れ歯洗浄剤)は、

保管容器、保管場所を分けている

### 4. 飲み物・食べ物と間違える状況をつくらない

漂白剤を湯呑みや急須などに直接入れて漂白することはない

ポット洗浄剤の使用中は張り紙などで周囲に知らせている

ペットボトルなどにガソリン、灯油、殺虫剤を移し替えていない

冷蔵庫に食品以外の物を保管していない

お茶、ビールなど飲料の空き缶を灰皿代わりに使用することはない

## 5. 認知症のある人が誤食しないように、使用と保管に注意する

菓子類は、乾燥剤などを取り除いてから渡している

薬は服用の都度、家族や介護者が1回ずつ服用させている

塗り薬も家族や介護者がその都度塗布している

認知症のある人は、使い捨てカイロ、ポータブルトイレ用防臭剤、

紙おむつ、保冷枕、防虫剤を誤食する危険性を知っている

認知症がある人の周りに化学製品を置いていない

